

開催日：2022.9.16(金) 14:00～15:00

ウェビナー内容

自治体における“見える化”から始める健康増進 ～介護予防と国内最大規模SIB豊田市の事例から学ぶ～

日本が超高齢社会に突入して久しいですが、介護や介護予防などの社会課題に対するインフラやサービスの整備は十分とは言えない状況です。そういった中で我々は、自治体における“見える化”の事例に着目いたしました。ある情報を“見える化”することで、行動変容やその先の健康増進につながっていく、そのような環境を整えることで超高齢社会が抱える課題の解決につなげていきたいと考えています。本ウェビナーでは、複数自治体での各種予防事例講演の後、国内最大規模の豊田市SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)における見える化の取組事例も紹介いたします。自治体や介護・高齢者施設ご担当者様の他、企業の健康経営推進ご担当者様も是非ご参加ください。

【講演者】



国立大学法人 神戸大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション科学領域 教授
同認知症予防推進センター長 古和 久朋氏

アルツハイマー病を中心とした認知症の臨床・神経病理学研究と地域密着型認知症予防介入が専門。1995年に東京大学医学部を卒業し、2004年に同大学院学博士課程を修了。マサチューセッツ総合病院、東京大学病院勤務の後、2010年に神戸大学医学部神経内科講師に就任。2012年に同准教授。2017年から現職。神戸大学認知症予防推進センターが実施する認知症予防プログラム「コグニケア」のプログラム内容の制定とこれをベースとした研究も推進している。



神戸大学



株式会社Moff 代表取締役社長 土田 泰広氏

監査法人トーマツを経て、シカゴ大学にて経営学修士(MBA)課程を修了。その後、外資系コンサルティング、投資ファンドを経て2016年にMoff入社。2021年より現職。独自のモーションセンサーを使ったリハビリサービスを介護施設等へ提供する他、2020年の神戸市でのオンラインフレイル予防実証を皮切りに多くの自治体での介護予防事業に従事。2021年には同分野で神戸大学と事業提携。グロービス経営大学院専任教員、公認会計士。

Moff

タイムスケジュール

- 14:00 神戸大学大学院保健学研究科 教授 認知症予防推進センター長 古和 久朋氏
講演「兵庫県丹波市での多因子介入による認知症予防研究」
- 14:15 株式会社Moff 代表取締役社長 土田 泰広氏
講演「ダイエットと介護予防の共通点 ～10以上の自治体実績で見た“見える化”がもつ威力～」
- 14:30 カゴメ株式会社 課長/健康経営エキスパートアドバイザー 湯地 高廣氏
講演「豊田市SIB事例など、“見える化”が起こした行動変容」
- 14:45 質疑応答
- 14:55 その他事務連絡



※ご都合に合わせて、ウェビナー中に入退出頂いても構いません。

お申込み 9/15(木)17時×

下記リンクからフォーム送信、または右記QRコードからお申し込みください。

<https://healthcare.kagome.co.jp/ja-jp/form220916>

お問合せ先:カゴメ株式会社 東京本社 健康事業部
メール:kagome.happy-wellness@kagome.co.jp



※オンライン形式(zoom)での開催となります。PCやタブレットなどのモバイル端末と、インターネット環境のご準備をお願いします。
参加希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。